

東京都現代美術館

MOT コレクション

歩く、赴く、移動する 1923→2020

特集展示 横尾忠則一水のように

生誕 100 年 サム・フランシス

2023 年 12 月 2 日（土）～2024 年 3 月 10 日（日）

東京都現代美術館では、戦後美術を中心に、近代から現代にいたる約 5700 点の作品を収蔵しています。「MOT コレクション」展では、会期ごとに様々な切り口を設けて収蔵作品を展示し、現代美術の持つ多様な魅力の発信に努めています。

1 階では、「歩く、赴く、移動する 1923→2020」と題し、1923 年の関東大震災直後に上京した鹿子木孟郎が被災地を歩き描いたスケッチから、2020 年、移動の自由が制限されていたコロナ禍における当館での個展の際に制作されたオラファー・エリアソン作品まで、「歩く／赴く／移動する」をキーワードに多彩な作品で構成します。藤牧義夫の傑作《隅田川両岸画卷》（1934）を展示するほか、「MOT サテライト」を機に制作されたクサナギシンペイ、光島貴之、ワタリドリ計画（麻生知子、武内明子）の新収蔵作品なども併せてご紹介します。さまざまな時代や国に跨る作家たちに歩みを重ねることで、私たちが生きる世界や社会への視座を高める機会となれば幸いです。

3 階では、「特集展示 横尾忠則一水のように」と題し、2021 年の当館での個展を機に収蔵された作品を中心にご紹介します。1960 年代から近作まで、その変化に富んだ数々の作品に表れた「水」の表現に注目することで、新たな魅力を探っていきます。あわせて、横尾とゆかりの深い作家の作品も展示します。

また、今年生誕 100 年を迎えたサム・フランシスの大きな絵画のシリーズもお楽しみください。

* 本展は、前会期の展示を一部展示替えして継続しています。

* 開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

出品予定作家

石川直樹、桂ゆき、鹿子木孟郎、クサナギシンペイ、久保田成子、栗田宏一、中野淳、中村宏、尾藤豊、福田尚代、藤牧義夫、松本竣介、光島貴之、柳瀬正夢、横尾忠則、ワタリドリ計画（麻生知子、武内明子）、アンディ・ウォーホル、オラファー・エリアソン、サンドロ・キア、ジェニファー・バートレット、サム・フランシス、リチャード・ロングほか

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 内堀・工藤・稲葉

TEL : 03-5245-1134 (直通) / FAX : 03-5245-1141

E-MAIL : mot-pr@mot-art.jp WEB : <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

展覧会のみどころ

- 1階では、「歩く／赴く／移動する」をキーワードにコレクションを紹介。
鹿子木孟郎《震災スケッチ》など今年100年を迎えた関東大震災の関連作品を起点に、藤牧義夫の傑作《隅田川両岸画卷》や、戦後のルポルタージュ絵画、当館での2020年の個展で発表されコレクション展では初公開となるオラファー・エリアソン《クリティカルゾーンの記憶（ドイツーポーランドーロシアー中国ー日本）no.1-6》に至るまで、約100年の時に跨る多彩な作品を展示します。
- 周辺地域とのつながりから企画された「MOT サテライト」（2017-2020）を機に収蔵されたクサナギシンペイ（2017）、光島貴之（2019）、ワタリドリ計画（麻生知子、武内明子）（2020）の作品や、中野淳《[下町スケッチ]》（1974-78）をコレクション展で初展示し、美術館が建つ清澄白河や木場という土地にも光をあてます。
- 3階では、空間を広々と使い、今年生誕100年を迎えるサム・フランシスの大きな絵画のシリーズ（寄託: アサヒグループジャパン株式会社所蔵）を展示します。
- 横尾忠則の特集展示では、絵画とグラフィック作品約70点をご紹介します。「水」の表現に着目しながら、「水のように」様々にかたちを変えていく横尾の軌跡をたどります。
- 横尾忠則の展示に併せて、横尾とゆかりの深い作家である、ジェニファー・バートレット、サンドロ・キア、アンディ・ウォーホルの作品をご紹介します。また、常設展示されている宮島達男の一室にも横尾作品を展示します。コレクション展ならではの展示をお楽しみください。

展覧会概要

会期	2023年12月2日（土）～2024年3月10日（日）
休館日	月曜日（1月8日、2月12日は開館）、12月28日～1月1日、1月9日、2月13日
開館時間	10:00～18:00（展示室入場は閉館の30分前まで）
観覧料	一般500円 / 大学生・専門学校生400円 / 高校生・65歳以上250円 / 中学生以下無料 （または企画展のチケットでもご覧いただけます）
会場	東京都現代美術館 コレクション展示室
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
企画担当	事業企画課 事業係 水田有子、藤井亜紀

同時期開催

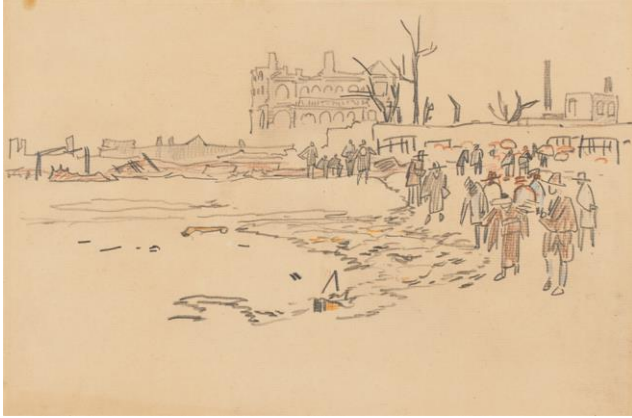
- 「MOT アニュアル 2023 シナジー、創造と生成の間」2023年12月2日（土）～2024年3月3日（日）
「豊嶋康子 発生法——天地左右の裏表」2023年12月9日（土）～2024年3月10日（日）

お問い合わせ
東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 内堀・工藤・稲葉
TEL：03-5245-1134（直通） / FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp WEB：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

広報用画像として本リリースに掲載している画像をご用意しております。
ご希望の際はキャプションについている番号を、広報までお知らせください。

歩く、赴く、移動する 1923→2020



1 鹿子木孟郎《震災スケッチ（避難民と焼野）》1923



2 中野淳《[下町スケッチ]》1975



3 藤牧義夫《隅田川両岸画卷 No.2》1934（部分）



4 クサナギシンペイ《荒野へ》2017



5 光島貴之《ハンゾウモン線・清澄白河から美術館へ》2019

Photo: Takashi Fujikawa

お問い合わせ
東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 内堀・工藤・稲葉
TEL : 03-5245-1134 (直通) / FAX : 03-5245-1141
E-MAIL : mot-pr@mot-art.jp WEB : <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



6 麻生知子 (ワタリドリ計画)
《秋雨をあつめて早し隅田川》2020



7 武内明子 (ワタリドリ計画) 《曇り空と排水機場》2020



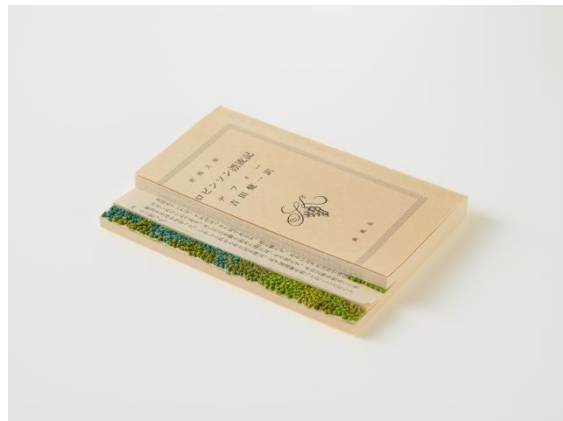
8 久保田成子 《ブロークン・ダイアリー：
ヨーロッパを一日ハーフインチで》1972
© Estate of Shigeko Kubota



9 石川直樹 《THE VOID #30》2005



10 オラファー・エリアソン
《クリティカルゾーンの記憶 (ドイツーポーランドーロシアー中国ー日本) no. 1-6》2020
Photo: Kazuo Fukunaga © Olafur Eliasson



11 福田尚代 《『ロビンソン漂流記』》2003
Photo: Ichiro Otani

お問い合わせ
東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 内堀・工藤・稲葉
TEL : 03-5245-1134 (直通) / FAX : 03-5245-1141
E-MAIL : mot-pr@mot-art.jp WEB : <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

特集展示 横尾忠則一水のように



12 横尾忠則《葬列II》1969



13 横尾忠則《運命》1997



14 横尾忠則《意志の彷徨》2002

生誕100年 サム・フランシス



15 サム・フランシス

(左から)《無題 (SFP85-110)》《無題 (SFP85-95)》《無題 (SFP85-109)》1985

寄託 (アサヒグループジャパン株式会社所蔵) MOT コレクション展示風景 Photo: Masaru Yanagiba

100
Sam Francis

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 内堀・工藤・稲葉

TEL : 03-5245-1134 (直通) / FAX : 03-5245-1141

E-MAIL : mot-pr@mot-art.jp WEB : <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

MOT
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO
OF
ART
東京都現代美術館